

テレビスタンド

SU-B28DX/B32DX/B36DX

取扱説明書

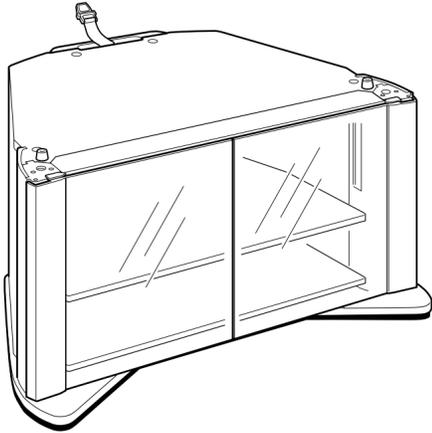
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、以下のソニーのカラーテレビ専用です。棚板には、BSデジタルチューナーやビデオデッキなどを設置するよう設計されています。

テレビスタンド	SU-B28DX	SU-B32DX	SU-B36DX
テレビ	KV-28DX750 KV-28DX650 KV-28DX550	KV-32DX850 KV-32DX750 KV-32DX650 KV-32DX550	KV-36DX850 KV-36DX750



Sony Corporation © 2001 Printed in Japan

テレビを設置するときのご注意

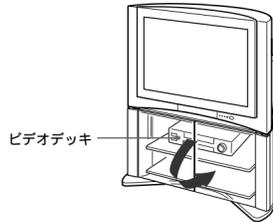
テレビとテレビスタンドの間に手や指などはさみこまないようご注意ください。



使用上のご注意

- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によっては、テレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- 美しい状態でお使いいただくため、ときどき柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品は、テレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。



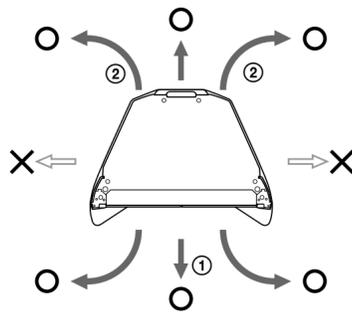
テレビスタンドを動かすには

このテレビスタンドは、↑で示した方向に動かします。左右(×で示した方向)には、動きません。無理に動かそうとすると、床面を傷つけたり、転倒の原因になることがあります。

左右に動かしたいときは、いったん前方(①)に引き、斜め後方(②)に戻しながら位置を合わせてください。

ご注意

- テレビスタンドを床面に段差があるところを動かすときは、いったん固定ベルトをはずしてテレビを降ろしてください。
- 手足を底板の下にはさんだり、キャスターで踏んだりしないようご注意ください。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

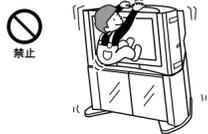


警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

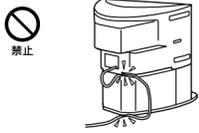
警告 安全のために

テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない。テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどをテレビスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- テレビスタンドを動かすとき、キャスターで電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない

- このテレビスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

載せる機器の総質量は、指定の質量を越えないようにする。指定の質量を越えると、板が割れたり、くぼんだりして、テレビなどを壊す恐れがあります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかり組み立てる。ネジがゆるんでいたり抜けていると、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。



テレビを固定する

テレビスタンドに付属の固定ベルトでテレビの転倒を防いでください。テレビを固定しないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



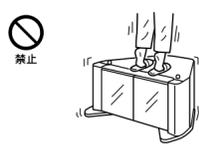
ガラス扉に強い衝撃を与えない

- テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。また、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えない。
- デジタルチューナーやビデオデッキなどを設置時にガラス扉にぶつけない。
- 掃除機で床面をすべらせてガラス扉に当たらない。



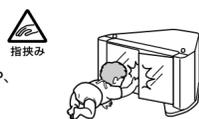
踏み台にしない

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



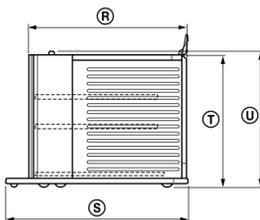
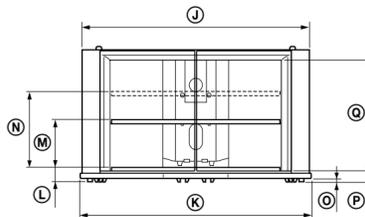
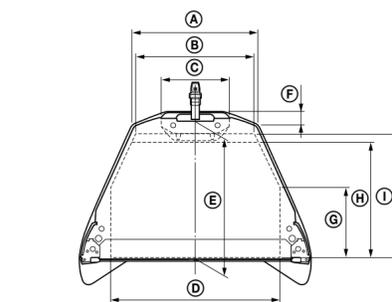
扉の隙間に指を入れない

ガラス製の扉の隙間に指などを入れると、はさまってガラスの縁で指が切れたり、無理に抜こうとしてガラスが割れたりしてけがの原因となります。また、お子様が扉を開閉するときや、テレビスタンドの周辺で遊んでいるときなどに誤って手指をはさまないように充分注意してください。



主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

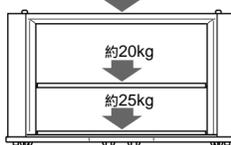


	SU-B28DX	SU-B32DX	SU-B36DX
寸法 (cm)			
(A)	42.8	40.9	40.8
(B) (棚板)		36.5	
(C)		18.4	
(D) (棚板)	58.3	67.9	77.5
(E)	47.8	48.1	48.4
(F)	4.9	4.6	4.4
(G)	19.0	17.1	15.4
(H) (棚板下)	40.0		41.0
(I) (棚板上)	43.0		43.7
(J)	78.6	88.2	97.8
(K)	79.8	89.4	99.0
(L)		4.8	
(M)		16.3	
(N)		26.3	
(O)		1.2	
(P)		3.9	
(Q)		37.2	
(R)	52.2	52.6	52.8
(S)	60.4	60.7	61.0
(T)		44.6	
(U)		45.7	
質量 (kg)	19.5	20.5	21.5

積載量についてのご注意

それぞれの板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。板を壊す恐れがあります。なお、このテレビスタンドの総積載量は、各サイズのテレビの質量と棚板に載せる機器の質量の合計となります。

SU-B28DX: 約50kg
SU-B32DX: 約69kg
SU-B36DX: 約90kg



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
 ●http://www.sony.co.jp/SonyDrive/ お客様ご相談センター
 ●ナビダイヤル ☎0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
 ●携帯電話・PHS 03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
 ●FAX 0466-31-2595 受付時間: 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

eco info この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

- 組み立てる前に⓪ドライバーをご用意ください。
- ガラス扉などを取り付けるときは、けがをしないよう十分ご注意ください。

名称	数量	名称	数量	名称	数量
天板	1	前支柱(L, R)	2	ガラス扉(L, R)	2
側板(L, R共通)	2	後支柱 固定ベルト 後支柱(1) 後支柱カバー(1)	1式	扉固定金具(L, R)	2
底板(棚板付き)	1	棚板	1	キャスター	6
				棚ダボ	4
				ネジ(大) ⓪ 5x40 mm	12
				ネジ(小) ⓪ 4x16 mm	2
				平ネジ ⓪ 4x12 mm	4

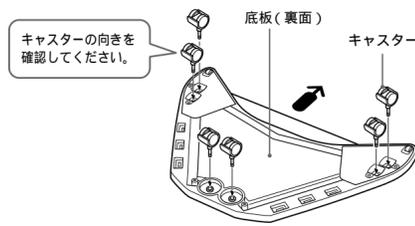
◀ 矢印は正面方向を示します。

手順2：底板に支柱を取り付ける

1 後支柱のカバーをはずす。

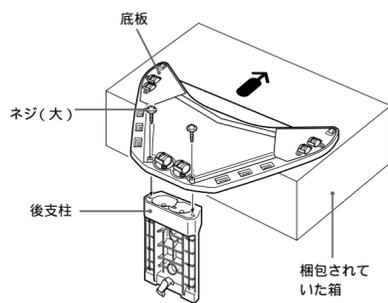


2 底板のキャスター取付け口に、キャスター(6個)を差し込む。



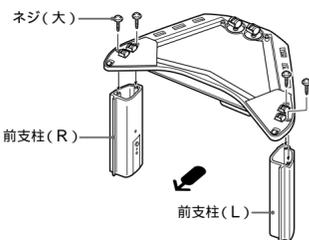
3 底板に、後支柱をはめ込み、ネジ(大)2本でネジ止めする。

⚠ ご注意
後支柱と前支柱(L, R)を取り付けるときは、キャスターの見える面を上にし、梱包されていた箱などを利用してください。本機や床面を傷つせず、また安定させた状態で作業できます。



4 前支柱(L, R)を底板の突起にはめ込み、それぞれネジ(大)2本でネジ止めする。

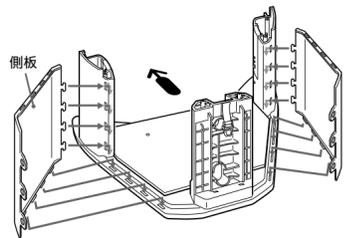
⚠ ご注意
前支柱は(L)と(R)を1本ずつ、ネジ止めすると作業しやすくなります。



手順3：側板を取り付ける

側板のツメを前支柱と底板の穴にはめ込む。

⚠ ご注意
先に前支柱側のツメを合わせると、入れやすくなります。



手順4：棚板と天板を取り付ける

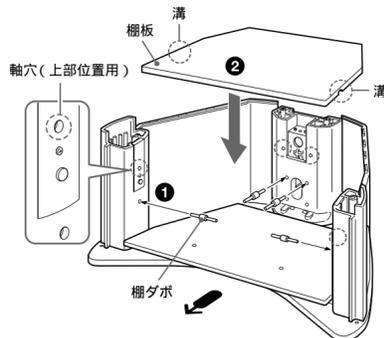
1 棚板を載せる。

① 棚ダボ(4本)を軸穴にはめ込む。

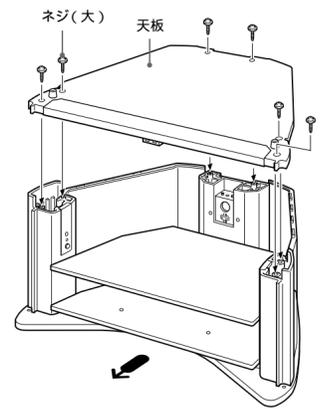
⚠ ご注意
棚板を取り付ける位置は、上下2か所あります。どちらか好きな位置に棚ダボを差し込んでください。

② 棚板を棚ダボに載せ、前支柱に取り付けた棚ダボが棚板裏面の溝にはまっていることを確認する。

⚠ ご注意
棚ダボは、しっかり軸穴に差し込んでください。ゆるんだり取れかかっていたりすると、棚板が落ちてガラス割れや設置したビデオ機器などの故障の原因になることがあります。



2 天板を取り付ける。 天板を各支柱と側板にしっかりとめ込み、各支柱にネジ(大)2本ずつでネジ止める。



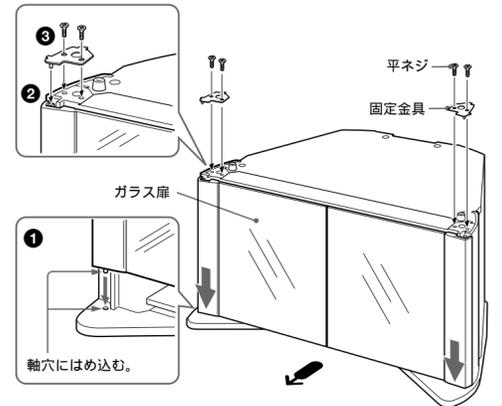
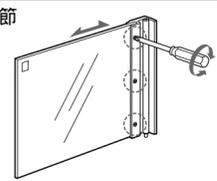
手順5：ガラス扉を取り付ける

1 ガラス扉を取り付ける。

- ① ガラス扉の軸のある方を下にし、底板の軸穴にはめ込む。
- ② 固定金具の軸をガラス扉上部の穴にはめ込み、天板の凹部に合わせてはめ込む。
- ③ 平ネジ2本でそれぞれネジ止める。

ガラス扉の位置調節

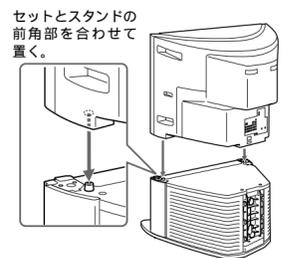
組立て後、ガラス扉の位置が合わないとき(両扉に段差が生じる)は、ガラスを固定している3本のネジをゆるめて調節してください。



手順6：テレビを置く

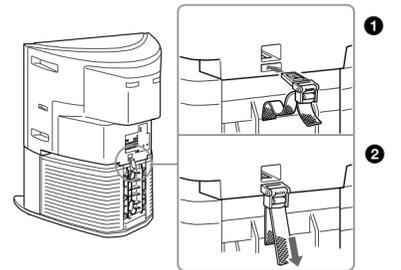
1 電源コードなどはさまないように注意しながら、テレビをテレビスタンドに置く。

⚠ 警告
指挟み
テレビをテレビスタンドに載せるとき、手指や足、服はさまないようご注意ください。



2 転倒防止のためのベルトを取り付ける。

- ① テレビスタンドに付属の固定ベルトのバックルを、テレビの差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。
- ② 固定ベルトがゆるまないよう、ベルトを引いて長さを調節する。



手順7：ビデオ機器などを設置する

ビデオ機器などを設置する。

上段にはBSデジタルチューナーなどを、下段にはビデオデッキなどの機器を設置する。ケーブルは後ろ支柱の穴を通して配線し、テレビと接続する。

⚠ ご注意

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。



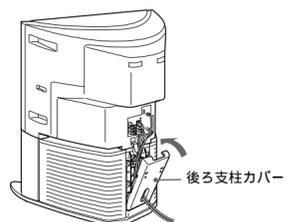
手順8：後支柱カバーを取り付ける

1 後支柱カバーの下方を後支柱に差し込んでから、上方をかぶせる。

設置した機器の電源ケーブルは、後支柱と後支柱カバーの穴から出して処理する。

⚠ ご注意

電源ケーブルは、たばねると発熱することがあります。カバー内でたばねないでください。



2 後支柱カバーを後支柱に、ネジ(小)2本でネジ止める。

⚠ ご注意

必ずネジ止めしてください。ネジ止めしないと、側板が固定されずガタつきます。

